

BAISOVIN NEWS AOYAMA

## 梅窓院通信

十夜号

No. 79  
2015/10/01

青山

## 住職挨拶

## 梅窓院第二十五世 中島 真成

今年もはや10月となりました。秋は各種行事の季節でもあります。既にご案内させていただいていますが、10月25日(日)に武鈴子先生の文化講演会、11月21日(土)に十夜法要、翌週28日(土)はファン・デン・フックさんのピアノリサイタルと続きます。皆様のお越しをお待ちしています。

さて、猛暑日だった8月7～8日、郡上と長野へ行ってきました。7日は郡上八幡観光協会からの花火大会への招待で郡上へ。夕立後の無風状態の中での花火となり、後半は濼んだ煙の中に花火の色だけがうっすら見える、という初体験となりました。翌8日は長野の寛慶寺で、住職である

上人の御忌唱導師(来年大本山増上寺にて)の親書伝達式に協導師として長野の天然寺副住職、 上人とともに随喜しました。親書伝達式では増上寺の 執事長が、 台下の親書を読み上げ、 上人に手渡されました。

今月号の表紙写真は南米ボリビアのウユニ塩湖の満月です。この冬に訪れた時に私が撮った写真です。日本の十夜の月とはだいぶ趣が異なりますが、これもまた満月のワンシーンということでお楽しみ下さい。

# 十夜法要

十二月二十一日(土)

十夜法要

午後四時～

本堂

法話

法要終了後

本堂

講師 北山 彩心上人

法話終了後、十夜法要にご参列頂いた方に芋煮のふるまいをさせて頂きます。  
なお、芋煮会だけのご参加はご遠慮頂いております。



## 十夜回向に関するお知らせ

十夜法要に關しましては「短冊回向」を取りやめ、塔婆の申込はがきに「回向のみ」も一緒に申込みができるようになりました。  
それぞれ異料が異なりますのでご注意ください。  
また、塔婆、回向のみは「〇〇家先祖代々」のみとさせて頂きますのでご了承下さい。

## 十夜によせて

それは数え切れないほどの大昔のことです。  
錠光如来じょうこうという仏が世に知られて、多くの  
人びとを「さとり」に導きました。次いで光遠  
如来、月光如来等、総じて五十三の如来が  
次々とあらわれ人びとを救済してみな涅槃ねはんに  
入られました。

次に五十四番目に出現された仏がいまし  
た。名を世自在王如来せじざいおうといたしました。

世自在王如来が出現された時、ひとりの国  
王がいました。国王は世自在王如来の説法を  
聞いて大変お喜びになり発心し、国と王位を  
棄て、出家者となり法蔵と名乗りました。そ  
の法蔵比丘ほうざうびく(修行者)は世自在王の御前におい  
て、清浄な、莊嚴で成就された国土を建立し、  
迷える人びとの生死苦難を除く事を発願しま  
した。そして五劫ごごうという長い時間をかけて浄  
土建立の行と願を選び取り、この願を成就し  
て阿弥陀如来となりました。

この法蔵比丘が阿弥陀如来となった日が陰  
暦の十月十五日です。現在は旧暦ですので十一  
月半ば頃をさします。浄土宗の各寺院ではこ  
のあたりの日取りで十夜法要を行っています。  
梅窓院も、阿弥陀様が仏様に成った日(成道  
の日)にちなんでお十夜法要を行っています。  
浄土宗の各寺院では様々な形で十夜法要が



昨年の十夜法要で法話をされた津村祥徳上人。



十夜法要の様子。

## 大島花子特別ライブ

今年は大島花子さんの特別ライブを  
法話終了後、観音堂にて開催します!



プロフィール  
歌手。2003年メジャーデビュー。  
昨年12月自身初のアルバム「柿の  
木坂」を発売。  
その中に収めた父、坂本九作詞曲  
「親父」をNHK歌謡コンサートで  
歌い感動を呼ぶ。  
7月2日付USEN歌謡チャート2  
位に。  
8月FNS夏のうたまつり出演。癒  
しの歌声が話題となり各マスコミ  
で取り上げられている。

塔婆回向一霊 七千円  
回向のみ一霊 三千元

### ●お申込方法

同封はがきにご記入の上、十一月十日必着で  
お申込下さい。  
はがきの書き方は同封の「書き方例」をご参照  
下さい。

### ●お支払方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払頂くか、  
当院受付までお持ち下さい。銀行・コンビニで  
のお支払はできません。  
ご不明な点は梅窓院受付までお問い合わせ下  
さい。

伝えられています。ここではその中でも有名な  
関東の三大十夜法要をご紹介します。

一つ目は鎌倉光明寺に十五世紀末に伝わっ  
た引声念仏いんせいねんぶつを法要で勤める「引声十夜会」で  
す。笏拍子しやくびょうしで『阿弥陀経』を誦誦し、雲版うんぱん・太  
鼓と双盤という楽器で引声念仏をお称えします。

二つ目は、埼玉・鴻巣の勝願寺の「塔婆十  
夜」です。先祖代々の精霊位に塔婆を供養す  
ることは知られていますが、この「塔婆十夜」  
では、参詣者がお世話になった故人等の精霊  
に感謝の心を表し供養するもので、昔は近所  
から多くの人びとが塔婆供養の為に参詣に訪  
れたそうです。

三つ目は東京・八王子の（滝川）大善寺の  
「諷誦文十夜」です。諷誦文はフジモンと読  
み、平安時代から行われた風習で、施主が亡  
き人の追善供養の為に施物を記入して僧侶に  
読経を請い、僧侶は読経回向の後に諷誦文を  
読み上げて供養します。通常、施主の請いに  
応じて個別に読み上げて回向するので、各地  
にもさまざまな諷誦文十夜が残されていま  
す。

梅窓院の本年の十夜法要は十一月二十一日  
です。どうぞ阿弥陀様の成道にちなんだこの  
法要にお参りいただき、声高らかにお念仏を  
いたしましょう。

(法務)

## 行事予定

### 文化講演会

10月25日(日)

開場 午後2時15分 祖師堂

開演 午後3時～

【講師】武 鈴子氏

入場料無料／先着300名

※詳しくは前号同封のチラシをご覧ください。



### 十夜法要

11月21日(土)

法要／法話／特別ライブ／芋煮会

法要開始 午後4時～



### M・ファン・デン・フックビアリサイタル

11月28日(土)

開場 午後2時15分

開演 午後3時～ 祖師堂

冥加料 檀信徒 2,000円

一般 5,000円

先着 300名 お申込受付中!!

【お問合せ】

青山文化村 03(3404)8588

今年は「1000の

Surprise ～果

てしなき幻想の

世界～」と題し

ての演奏です。

※曲目など詳しく

は前号同

封のチラシを

ご覧ください。



## 梅窓院のお墓とペット供養の窓口

### 日本エキスパートシステム 墓苑事業部からのお知らせ

そろそろ来年度のカレンダーや手帳が届く頃ですね。使い慣れた手帳、見慣れたカレンダーをご用意されることでしょう。

ところで先日、改葬のご相談がありました。千葉の霊園からの改葬とのことで話を進めていったところ……、ワンちゃんの改葬でした。ワンちゃんの場合は人間のお骨のお引越しと違って何の事務処理も要らないのですが改葬する方にとっては一大事です。

一方、人間となると簡単にはいきません。梅窓院に改葬される方も慣れない作業でご苦労されていることと思います。当墓苑部では改葬のお手伝いも致しますので何かあればお声掛け下さい。

また、皆様からのご要望もお待ちしております。

## 活動報告

### 郡上市中学生港区交流活動

8月6日(木)

郡上市・港区の交流事業の一環として今年も郡上市の中学生の皆さんが梅窓院を訪れ、僧侶の話聞いたあと青山家のお墓参りをされました。



### 増上寺御忌親書伝達式(於 長野・寛慶寺本堂)

8月8日(土)

平成28年4月7日、大本山増上寺の御忌法要でかつて梅窓院に隨身されていた長野・寛慶寺住職の 上人が唱導師を務められます。写真は寛慶寺で行われたその親書伝達式。協導師を務める中島住職も列席されました。

来年の御忌当日には、梅窓院で増上寺団体参拝を企画しています。多くの皆様のご参加をお願いいたく、ご参考に増上寺発行の『御忌大法要』の案内パンフレットを同封致しますので、どうぞご覧ください。なお、詳細は次号の新年号にてお知らせ致します。



## お檀家さんに伺いました

平成27年 開山忌法要にて

### 「梅窓院で能楽」

主人の月命日を、今回は開山忌に合わせてお参りさせて頂きました。若いころからお能が好きで、習っております。お能の先生が藝大のご出身の方で、橋本さんの先輩でした。そういった素敵なお縁もあり、楽しませて頂きました。

お寺でお念仏をお称えるのは、とても気持ちが安らぎます。又、折にふれ御法要にもお参りさせて頂きたく思っています。

平成27年 第65回念仏と法話の会にて

### 「充実した日になりました」

念法会は2回目の参加になります。

暗闇の中でお経を称えていると心が穏やかな気持ちになります。

中村上人の法話はメリハリがあり、とても楽しく伺うことができました。また、お歌も上手でした。

茶話会では知らない方々と和気藹々とお話しができて良い交流の場になりました。

発行／梅窓院

発行日／平成27年10月1日

発行人／中島 真成

編集／青山文化村

住所／〒107-0062

東京都港区南青山2-26-38

電話／03-3404-8447

FAX／03-3404-8436

ホームページ／<http://www.baisouin.or.jp/>

E-Mail／[jodo@baisouin.or.jp](mailto:jodo@baisouin.or.jp)

題字／中村康隆元浄土門主

総本山知恩院第八十六世門跡